

北上市総合計画 2021～2030 令和4年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和3年度）

基本方針	1.すべての人が活躍できる環境づくり
基本施策	3-1.生涯にわたる豊かな学びの場づくり
関連するプロジェクト	3.地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト

活発な市民活動や充実した文化施設、豊かな自然及び伝統的な文化等、本市独自の資源を最大限に活用し、市民が生涯にわたって活躍できる生涯学習環境の形成を推進します。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	B
------	----------

R4事後	5
------	----------

No.	担当部署等	プロジェクト	推進方針	成果指標	達成状況(対象:R3) (上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)	達成状況評価	達成状況分析(上段:指標に基づくもの 下段:指標以外のもの)		今後の方向性 (◇:R4に着手予定・着手済み ◆:R5以降の着手を検討)
							内部要因	外部要因	
1	企画部	市史編さん事業の推進	定期的に進捗管理を行いながら、「北上市史編さん基本計画」に基づく各巻の発刊スケジュールによる刊行を推進する。また、市民への周知と協力を情報発信していく。新型コロナウイルスの感染症拡大の状況を踏まえた対応を行いながら、事務局と各編さん委員との情報共有を図り、計画的な刊行を行う。	①	「資料編古代・中世」と「特別編民俗」の刊行を予定していたが、年度内に刊行できなかった。	B	外部との連絡調整がスケジュール通りに進まなかった。 刊行時期に合わせて付帯事業を実施できた。	・コロナ禍で聞き取り調査ができず、予定通りに原稿が提出されなかった。 ・予想以上に執筆者と業者の校正に時間がかかった。	◇「資料編古」は3月に刊行、令和3年度刊行予定だった「資料編古代・中世」は9月、「特別編民俗」は12月に刊行することで事業を進める。 ◆刊行時期の変更はあるが、基本計画に基づき刊行に向けた準備を進める。(5年度:2冊、6年度:2冊、7年度:1冊)
2	まちづくり部	多様な社会教育への対応	市民が主体的に参加するきっかけとなるような周知や情報提供を行う。また、各地区交流センターや企業等と連携し、個人のライフステージに応じた多様な講座の開催を図る。特に地域で活動している生涯学習推進員を対象とした研修を実施し、多種多様な講座開設につなげ、地域内の人材育成を図る。生涯学習事業を通じて、市民が地域の持つ様々な資源の魅力を知り、その魅力を育てて発信することで地域への愛着と誇りの醸成が図られるように、地域、学校及び行政が連携し、学びの機会を創出する。	②③	出前講座の参加者が令和2年度の実績値より865人減少し、期待値を下回っている。市民大学の参加者にアンケート調査を行った結果、講座の内容を理解できたと回答した人の割合が8割以上であった。また、講座内容が重複しないように幅広い分野の生涯学習事業の講座を開催した。	B	出前講座については、HPやパンフレットを利用し、講座内容について、市民へ周知を図るとともに、コロナ禍でも講座が実施できるように、「コロナウイルス感染予防ガイドライン」を作成し配布した。市民大学については、前年度のアンケート調査結果を踏まえ、健康長寿に関する話題や東日本大震災の現状についてなど、市民の希望にあった講座を開催した。	出前講座については、新型コロナウイルスの影響により、321件の申し込みがあったうち137件の講座を中止せざるを得ない状況となった。市民大学については、働き方の多様化や家族形態の変化により、従来どおりの開催方法では、20代～50代若年層の受講者の確保ができなくなっている。	◇市民大学のあり方について、運営委員と協議する。 ◆市民大学においては、若年層の受講者確保のため、現状の課題分析を実施する予定。
3	教育部	読書習慣の定着化	図書館においては、生涯における読書の習慣の基礎となる幼少期(子育て期)から本に親しむきっかけとなる機会の提供、家庭環境の違いなどによらない読書習慣の定着を図るとともに、読み聞かせや、お話し会の事業を推進する。	④	図書館利用登録率について、R2と比較した場合に新規登録件数は上回ったが、登録率は下回っている。(新規登録件数:1,496件/R2→1,592件/R3)	B	3年間利用がなかった利用者の登録を抹消処理したため、抹消件数が新規登録数を上回った。	コロナの蔓延により公共施設利用を控える傾向にあった。	感染症の状況を見ながらお話し会などを再開し、利用者増に繋がる事業を実施する。また、幼児向けの絵本なども引き続き力を入れ資料収集を行う。
4	教育部	親しみがもてる社会教育施設へ	豊富な資料の収集、保存を行うと共に、博物館においては、若年層にも興味をもてる常設展示の工夫、企画展の魅力向上を図り、あわせて、博物館分館による自然科学系の事業も推進する。また、鬼の館においては、芸能公演や講座を実施し、民俗芸能の保存と次世代への継承を推進する。更に、常に最新の郷土の歴史・文化の情報を研究・発信し続けることにより、社会教育施設の利活用を通して、郷土の歴史・文化に対する興味関心を深め、シビックプライドの醸成につなげる。また、感染症対策に対応した施設整備を進めると共に、施設自体の魅力向上を図り、各館の周年事業に向けた取り組みを進める。	⑤	【図書館】7-15才の貸出が1,001人増加した。 【博物館】小中学生の入館者700人程度減少、コロナ流行により校外活動が制限または中止となったため、入館者がかなり減少した。 【鬼の館】小中学生の利用者数は、前年度より481人増加した。	A	【図書館】コロナ対策で貸出冊数を倍にしており、来館頻度は少なくなっている。 【博物館】コロナ流行により、小学校、幼稚園、保育園等の団体来館が著しく減っている。 【鬼の館】適切なコロナ対策の実施により、小学生を対象とした事業やイベントを開催することができた。	【図書館】前年より家族での来館も見られるようになってきた。 【博物館】コロナ流行により学校等から、外出自粛や公共施設利用の抑制などの指示があり、来館が遠のいた。 【鬼の館】小学校の社会科見学、修学旅行の利用が増加した。	【図書館】学齢前期での幼児期での図書館利用機会の提供、安心して利用できる施設の維持を継続する。 【博物館】引き続き郷土の歴史・文化の情報を研究・発信するとともに、今後はDXも活用し、国籍や障がいの有無にかかわらず、より多くの市民に学ぶ機会を検討していく。 【鬼の館】魅力的な民俗芸能公演や講座を継続して実施し、次世代への継承を推進する。
5	教育部	社会教育施設の周年事業に向けた来館者サービスの向上	令和5年の博物館開館50周年、令和6年度の鬼の館開館30周年に向けて、老朽化した展示室の機器や内装等の改修に取り組む。また、小中学生、若年層、障がい者、外国人来館者向けの解説コンテンツを提供すると共に、特別展、企画展、民俗芸能公演の実施など、来館者サービスを向上し、博物館・鬼の館の魅力向上を図る。	⑥	【博物館】アンケート結果は高い満足度(96%)を示している。 【鬼の館】アンケート集計結果は、満足度が前年度より12%減少した。	B	【博物館】興味を持ってもらえる企画展、特別展の開催ができたことによる。 【鬼の館】職員による常設展示の解説や、幼児から小学生を対象とした教育普及シートの配布を実施した。	【博物館】コロナ流行による経済活動、社会活動の中止、停滞。 【鬼の館】コロナで外出制限が実施されたことにより、娯楽への欲求が高まっている。	【博物館】Withコロナとなる中で、感染予防を実施しながら、特別展、企画展等を実施し、学ぶ機会の創設を図る。 ◇防犯カメラ更新工事を実施し、文化財等の管理に万全を期す。 ◆50周年企画については令和4年度内に内容精査し、予算要求を実施する。 【鬼の館】魅力的な企画展、民俗芸能公演を継続して開催していく。 ◇老朽化した展示機器を更新する。 ◆開館30周年事業を実施する。

凡例 ●実績値 ○期待値

指標 ①		指標の説明							
市史の刊行(全10冊のうち9冊)		計画(全10冊)に基づく刊行							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
企画部	冊	実績値	0.0	1	0				
		期待値 ※R7は目標値	0.0	1.5	3.0	4.5	6.0	7.5	9.0
		備考							
指標 ②	指標の説明								
出前講座参加者数		出前講座に参加した人数							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちづくり部	人	実績値	16,545	7,678	5,154				
		期待値 ※R7は目標値	16,545	16,621	16,697	16,773	16,848	16,924	17,000
		備考							
指標 ③	指標の説明								
市民大学等受講者の理解度(R3年度からアンケート項目に入れる)		市民大学等受講者へのアンケート結果で講座内容を理解できたと答えた人の割合							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
まちづくり部	%	実績値	-	-	83.26				
		期待値 ※R7は目標値	-	-	83.26	86.2	89.1	92.1	95.0
		備考							
指標 ④	指標の説明								
図書館利用登録率		図書館システムより登録者数を抽出し算出 登録者数/人口							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
教育部	%	実績値	24.1	23.5	22.6				
		期待値 ※R7は目標値	24.1	24.5	24.9	25.3	25.7	26.1	26.5
		備考		団体貸し出しによる読者もあることから登録者数は個人と団体登録を加えた数とした。	団体貸し出しによる読者もあることから登録者数は個人と団体登録を加えた数とした。				
指標 ⑤	指標の説明								
社会教育施設(図書館、博物館、鬼の館)の小中学生利用者数									
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
教育部	人	実績値	21,691	13,667	14,422				
		期待値 ※R7は目標値	21,691	21,776	21,861	21,946	22,030	22,115	22,200
		備考	【内訳】図書館(貸出者数7-15才)17,134人 博物館1,890人 鬼の館2,267人	【内訳】図書館(貸出者数7-15才)10,237人 博物館1,859人 鬼の館1,571人	【内訳】図書館(貸出者数7-15才)11,238人 博物館1,132人 鬼の館2,052人	【内訳】図書館(貸出者数7-15才)17,500人 博物館2,000人 鬼の館2,700人			
指標 ⑥	指標の説明								
来館者アンケート満足度(博物館、鬼の館)		博物館の来館者に対して実施しているアンケートにおける満足度が高い割合【鬼の館】入館者を対象にしたアンケートのうち、「面白かった」と回答した人数の割合							
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
教育部	%	実績値	84	90	84.5				
		期待値 ※R7は目標値	84	84.6	85.2	85.8	86.3	86.9	87.5
		備考	【内訳】博物館91% 鬼の館77%	【内訳】博物館95% 鬼の館85%	【内訳】博物館96% 鬼の館73%				【内訳】博物館95% 鬼の館80%
指標 ⑦	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑧	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑨	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑩	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑪	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑫	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑬	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑭	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							
指標 ⑮	指標の説明								
担当部等	単位	R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							